



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 川岸工業株式会社

コード番号 5921 URL <http://www.kawagishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川岸隆一

問合せ先責任者 (役職名) 経理課長

(氏名) 影山浩一

TEL 04-7143-1331

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	4,422	32.8	△231	—	△201	—	△128	—
26年9月期第1四半期	3,331	0.6	△93	—	△54	—	△56	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	△8.82	—
26年9月期第1四半期	△3.85	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	23,365	—	16,060	—	—	68.7
26年9月期	23,074	—	16,147	—	—	70.0

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 16,060百万円 26年9月期 16,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	20.6	30	—	150	—	150	—	10.29
通期	16,000	△9.6	50	△31.5	200	△19.4	200	△0.5	13.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期1Q	15,000,000 株	26年9月期	15,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年9月期1Q	421,916 株	26年9月期	421,475 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期1Q	14,578,164 株	26年9月期1Q	14,580,974 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
4. 補足情報	7
生産、受注及び販売の状況	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府のデフレ脱却を目指した経済政策や日銀による追加金融緩和策により、企業の設備投資の増加や雇用情勢の改善など、一時的な景気の回復のきざしは見られるものの、円安による輸入原材料の高騰が各業界に悪影響し、本格的な回復を見込めないまま推移しました。

当業界におきましても、2014年度上期の鉄骨需要量は約254万トンとなり、年度としては、前年度比で減少となるも500万トン前半で推移すると思われまます。一方で、人手不足などによる工期遅れや人件費・鋼材価格等の上昇が懸念されております。

このような中、当社は受注に鋭意努力しましたが、当第1四半期累計期間の受注高は前年同四半期比31.9%減の4,348百万円となりました。

完成工事高は、前年同四半期比32.8%増の4,422百万円となりましたが、損益面は、工程のずれや大幅なコストの上昇等により、営業損失231百万円、経常損失201百万円、四半期純損失128百万円（前年同四半期は56百万円の四半期純損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度の23,074百万円から23,365百万円と291百万円増加しました。売上債権及び投資有価証券等が減少したものの、現金預金及び未成工事支出金が増加したことによるものです。

総負債は、工事未払金、退職給付引当金及び補償損失引当金等が減少するも、短期借入金及び未成工事受入金等が増加したことにより、379百万円の増加となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加があるも、利益剰余金の減少により87百万円の減少となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の業績予想につきましては、平成26年11月11日に開示しました業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

## (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期会計期間の期首の退職給付引当金が123百万円減少し、利益剰余金が123百万円増加しております。また、当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (税金費用の計算方法の変更)

従来、四半期財務諸表における税金費用の計算は、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期会計期間より、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	534,251	1,111,029
受取手形・完成工事未収入金	15,322,368	14,759,418
有価証券	—	100,840
未成工事支出金	581,596	728,182
材料貯蔵品	112,342	131,939
未収入金	30,262	29,019
その他	80,067	153,174
貸倒引当金	△22,091	△28,808
流動資産合計	16,638,797	16,984,794
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,058,300	1,041,933
機械・運搬具(純額)	437,762	443,143
土地	3,799,221	3,799,221
その他(純額)	13,416	13,641
有形固定資産合計	5,308,700	5,297,940
無形固定資産	13,484	14,130
投資その他の資産		
投資有価証券	742,911	695,702
その他	403,213	405,602
貸倒引当金	△33,000	△32,250
投資その他の資産合計	1,113,124	1,069,055
固定資産合計	6,435,310	6,381,126
資産合計	23,074,107	23,365,921
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	3,391,737	3,004,165
短期借入金	2,260,000	3,430,000
1年内返済予定の長期借入金	6,250	—
未払法人税等	22,556	—
未成工事受入金	—	27,692
補償損失引当金	101,440	—
賞与引当金	53,760	16,562
その他	515,682	379,402
流動負債合計	6,351,426	6,857,822
固定負債		
退職給付引当金	285,224	138,436
役員退職慰労引当金	110,726	113,003
その他	178,987	196,619
固定負債合計	574,938	448,059
負債合計	6,926,364	7,305,881

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	955,491	955,491
資本剰余金	572,129	572,129
利益剰余金	14,542,719	14,421,053
自己株式	△131,748	△131,973
株主資本合計	15,938,592	15,816,700
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	209,149	243,338
評価・換算差額等合計	209,149	243,338
純資産合計	16,147,742	16,060,039
負債純資産合計	23,074,107	23,365,921

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
完成工事高	3,331,271	4,422,741
完成工事原価	3,302,110	4,529,985
完成工事総利益又は完成工事総損失(△)	29,161	△107,244
販売費及び一般管理費	122,633	123,896
営業損失(△)	△93,472	△231,140
営業外収益		
受取利息	1,019	24
受取配当金	5,207	5,615
不動産賃貸料	19,715	20,357
鉄屑売却益	11,654	14,909
その他	10,187	10,066
営業外収益合計	47,785	50,973
営業外費用		
支払利息	1,109	4,928
貸倒引当金繰入額	387	5,966
賃貸費用	2,245	2,504
遊休資産管理費	2,665	2,648
支払補償費	—	5,113
その他	2,427	147
営業外費用合計	8,836	21,309
経常損失(△)	△54,523	△201,476
税引前四半期純損失(△)	△54,523	△201,476
法人税等	1,613	△72,928
四半期純損失(△)	△56,137	△128,547

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

製品別	前第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)			当第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)			前事業年度 (自平成25年10月1日 至平成26年9月30日)		
	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	15,651	3,184,922	92.7	17,947	4,203,742	92.6	73,165	16,264,590	92.7
プレキャスト コンクリート	3,248	251,287	7.3	4,741	337,613	7.4	17,269	1,277,612	7.3
合計	—	3,436,209	100.0	—	4,541,355	100.0	—	17,542,203	100.0

## ② 受注状況

イ. 受注高

製品別	前第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)			当第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)			前事業年度 (自平成25年10月1日 至平成26年9月30日)		
	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	28,209	5,453,170	85.4	17,064	4,338,302	99.8	79,851	19,142,821	91.0
プレキャスト コンクリート	15,700	929,483	14.6	0	10,042	0.2	28,374	1,900,074	9.0
合計	—	6,382,654	100.0	—	4,348,344	100.0	—	21,042,895	100.0

ロ. 受注残高

製品別	前第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)			当第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)			前事業年度 (自平成25年10月1日 至平成26年9月30日)		
	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	50,221	10,045,734	90.8	42,200	10,674,587	94.7	42,153	10,444,140	92.0
プレキャスト コンクリート	17,183	1,017,343	9.2	10,642	598,163	5.3	15,374	903,007	8.0
合計	—	11,063,077	100.0	—	11,272,750	100.0	—	11,347,147	100.0

## ③ 販売実績

製品別	前第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)			当第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)			前事業年度 (自平成25年10月1日 至平成26年9月30日)		
	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	15,384	3,136,679	94.2	17,017	4,107,855	92.9	75,093	16,427,923	92.8
プレキャスト コンクリート	2,655	194,591	5.8	4,731	314,886	7.1	17,139	1,279,518	7.2
合計	—	3,331,271	100.0	—	4,422,741	100.0	—	17,707,441	100.0